

玄関用簡易止水シート発売

帝人フロンティア 簡単、低コストの水害対策

大手繊維・化学メーカー、帝人（東京都千代田区）の子会社で素材開発事業などを手がける帝人フロンティア（大阪市）は2022年11月15日、一般住宅用の簡易型止水シート「こめっば™」を発売した。

玄関ドアの周囲をポリ塩化ビニール製の止水シートで覆うことで、水害発生時の浸水を防ぐ。ドアの側面、下部にステンレス製の支柱を取り付け、止水シートを挟み込みネジで固定。下部の支柱が持つ押圧機能で、止水シートを締め込むことにより床にシートを強く押しさえ付ける仕組みだ。同社による試験では、約100kg相当の水圧がかかる高さ50cmの浸水で、漏水量を1・024L（ $h \cdot m^2$ ）に抑える性能を確保。漏水量等級区分では「JIS A 4716 W s 15」に相当する性能となっている。

設置に特殊な工具や穴開けは必要なく、低コスト・短時間で取り付け可能。急な天候の変化などにも備えられる。不使用



▲こめっばの設置手順

時はコンパクトに収納でき、止水シートや粘着テープなどの消耗品以外は繰り返し使える。消耗品は別売りでも提供されている。

近年の気候変動の影響による豪雨被害リスク、避難開始の目安となる「氾濫危険水位」を超える洪水の増加などで、簡易な水害対策のニーズが高まっていることを受けて開発。22年11月にクラウドファンディングでの一般販売を開始した。今後、インターネット通販サイトやホームセンターなどでも販売していく方針だ。価格は親子扉用が6万6000円、シングル扉用が5万5000円（いずれも税込み）。